

2021年9月14日

未承認新規医薬品・医療機器評価委員会で承認された治療法

当院の未承認新規医薬品・医療機器評価委員会にて、下記の治療法が承認されました。対象者となられる方から同意をいただくことに代えて、病院ホームページにて情報を公開することにより投薬を実施しております。なお、本件について同意できない場合、診療において不利益を被ることはありません。この内容に関して拒否される場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

記

実施内容	冠動脈 CT におけるメトプロロール酒石酸塩 錠の使用
実施責任者	三重大学医学部附属病院 病院長 伊佐地 秀司
対象者	冠動脈 CT 検査を受ける患者
承認日	2021年9月14日
対象期間	承認後、永続的に使用
概要	【目的・意義】 冠動脈 CT 検査では、心拍数コントロールを目的としたセロケン（一般名：メトプロロール酒石酸塩）等のβ遮断薬の前投与が推奨されています。注射剤として「コアベータ 12.5mg（一般名：ランジオロール塩酸塩）」が承認されていますが、経口剤で承認された薬剤はありません。経口剤の投与は、心拍数を安定的に低減する上で有効な場合があります。また、注射剤を使用できない場合に必要となります。 【想定される不利益と対策】 主な副作用は、血圧低下(1.1%)、発疹、悪心、鼻閉、くしゃみなど(1%未満)です。検査中は、心電図、血圧を持続的にモニターします。
お問い合わせ先	三重大学医学部附属病院 総務課 総務係 代表 059-232-1111 (内線 6293)

以上